A藤田委員

町営鬼鹿牧場は、指定管理者の農協に職員を１名派遣して管理委託しているが、その契約内容は。

また、将来的に農協に譲渡して運営していくとのことだが、その方向に進んでいるようには見えなく、今後の鬼鹿牧場の方向性について伺いたい。

A仲島経済課長

平成23年度から平成25年度の３年間の委託契約で、１年目40万円、２年目以降134万円であり、134万円の内訳は、牧柵の取り付け、取り外しに係る経費となっている。

A関町長

鬼鹿牧場は、指定管理終了年度でもあり、今後の方向性について農協組合長に伺っているが、何れにしても、農協が考えていかなければならない。当初、農協は『改良組合と連携を図り、畜産農家の考え方をまとめて管理運営していく』という方向性を出しているが、鬼鹿牧場を使用したいという畜産会社も出てきたことから、農協でも内部検討し、改良組合と協議した上で早めに結論を出したいとしている。

■土木費

Q藤田委員

除雪組合に委託している除排雪業務について、１月臨時議会で、約800万円の増額補正をしているが、補正内容は排雪経費のみであった。他市町村でも豪雪の影響により除排雪経費を増やしているようであるが、小平町では除雪経費に対する補正はなく、受託業者への影響はなかったのか。

A横山生活環境課長

除雪業務委託契約についても、実績による再積算をした結果、設計変更には至らなかった。

A関町長

各地区の除雪経費についての増減はあるとしても、町全体としては、設計変更には至らない結果であり、受託業者（除雪組合）においての問題と考える。

▼平成24年度小平町水道事業会計歳入歳出決算

企業会計

Q藤田委員

近年、異常気象ともいえる大雨の影響により、留萌管内でも断水が起きている。当町での濁水処理などの状況は。

A横山生活環境課長

８月の大雨による河川の泥水のため、浄水場の水処理が一時停止した。断水には至らなかったが、今回の事案を検証して今後も浄水場の管理運営に努めていきたい。

研修会レポート

平成25年度留萌管内町村議会議員研修会

去る９月４日、留萌管内町村議会議員研修会が開催され、当町全議員をはじめ関係者80名が小平町文化交流センターに集まりました。

講師には、公立大学法人 札幌市立デザイン学部・大学院デザイン研究科の斉藤雅也准教授を招き、『健康や家族の状況で変わる高齢者の住まい』と題して、講演いただきました。

講演では、高齢者の入浴事故などに触れ、「室温低下に対する血圧上昇発生率」といった資料をもとに温熱環境が人体に与える影響や、円山動物園の類人猿館改修デザインを例に、空間の環境を構成する光や熱をコントロールすることの重要性についてわかりやすく説明されて、参加した議員は耳を傾けておりました。

平成25年度議会広報研修会

去る８月20日、京王プラザホテル札幌において、議会広報研修会が開催され、工藤委員長と西埜副委員長が参加しました。

全国の議会広報コンサルタントとして活躍されている深沢徹氏を講師に迎え、はじめに『議会広報に求められるものは』と題して、「ありのままに、分かりやすく、住民とともに」という３つの重要ポイントに基づき、企画・レイアウト・文章などの具体的な技術について講演をいただきました。

その後は、道内12町村の議会広報紙を題材に具体的な改善点を指摘していくクリニックを行い、厳しい指摘や評価ポイントなどを歯切れよく解説していただき、これからの取組みに大変参考となる内容でした。